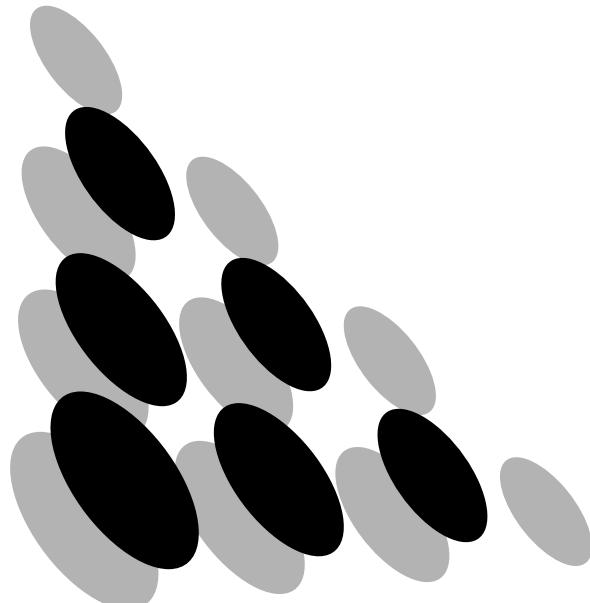


CELSIUSシリーズ

内蔵CD-R/RW ドライブユニット
(CLECD32)

基本CD-ROM ドライブ交換機構-CD-R/RW
(CL1CD32)

取扱説明書



FUJITSU

はじめに

このたびはCELSIUSシリーズ用内蔵CD-R/RWドライブユニット（CLECD32/CL1CD32）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は内蔵CD-R/RWドライブユニット（以下、本製品）の基本的な取り扱い方を説明しています。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2001年11月

梱包物の確認

- 内蔵CD-R/RWドライブ（CLECD32/CL1CD32）
- 保証書
- 取り付けネジ（4個）
- 取扱説明書（本書）

万一、不備な点がございましたら、恐れ入りますがお買い求めの販売店または弊社担当保守員までお申し付けください。

なお、基本CD-ROMドライブ交換機構-CD-R/RW（CL1CD32）には保証書および取り付けネジは添付されておりません。

All Rights Reserved, Copyright® 富士通株式会社 2001

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、本書を熟読し理解された上で本製品をお使いください。

また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

本装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

感電



△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容(左図の場合は感電注意)が示されています。

分解



○で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が示されています。

プラグ



●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が示されています。

⚠ 警告

窒息



梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。

感電



異物(水・金属片・液体など)が装置の内部に入った場合は、ただちにサーバ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、弊社担当保守員にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

感電



開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

感電



装置をお客様自身で改造しないでください。
感電・火災の原因となります。

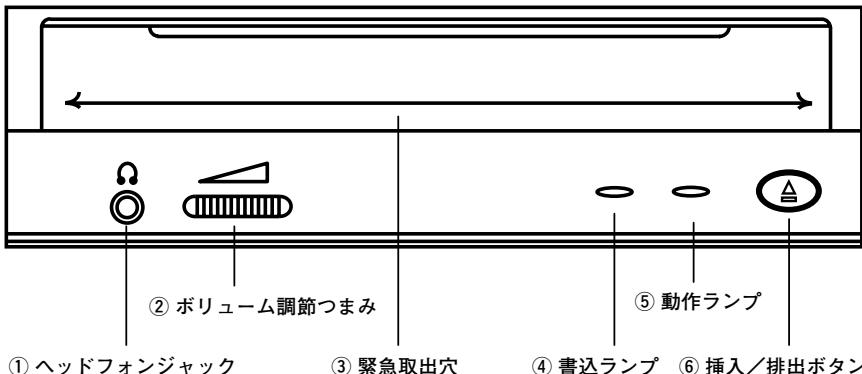
本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

目次

1 各部の名称と動き	5
2 本製品の取り付け	7
2.1 ジャンパスイッチの設定について	7
3 取り扱い上の注意	8
4 媒体の取り扱いについて	9
5 使用できる媒体について	10
6 仕様	11

1 各部の名称と動き

前面



① ヘッドフォンジャック

ヘッドフォン等を接続します。

② ボリューム調節つまみ

アナログオーディオ出力（ヘッドフォンジャック）の音量を調節します。

③ 緊急取出穴（トレイの内側にあります）

挿入／排出ボタンを押してもトレイが出ない場合に使用します。

電源を切断した後、トレイのドアを開け、クリップなどの細いワイヤを緊急取出穴に挿入するとトレイが出てきます。媒体を取り出した後、トレイを静かに元の位置に戻します。緊急時以外は使用しないでください。

④ 書込ランプ

書き込み時には点灯し、書き込みテスト時には点滅します。

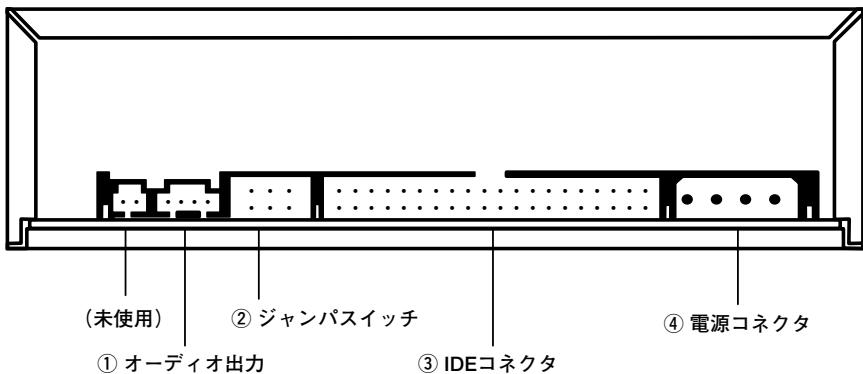
⑤ 動作ランプ

媒体が挿入されていると点灯し、媒体挿入直後や動作中は点滅します。

⑥ 挿入／排出ボタン

電源が入っている状態でボタンを押すと、トレイの開閉ができます。

背面



① オーディオ出力

オーディオケーブルを使用してサウンドカードのアナログ入力コネクタに接続します。

② ジャンパスイッチ

マスター／スレーブの設定を行うジャンパです。

③ IDEコネクタ

ワークステーション本体の40ピンIDEケーブルを接続します。

④ 電源コネクタ

ワークステーション本体の電源ケーブルを接続します。

2 本製品の取り付け

本製品の取り付けは、下記の手順で行います。

- (1) ジャンパスイッチの設定
- (2) CD-R/W ドライブの取り付け
- (3) ケーブルの接続

△ 注意

ここではジャンパスイッチの設定について説明します。

取り付けについては、ワークステーション本体添付のハードウェアガイド等を参照してください。

2.1 ジャンパスイッチの設定について

本装置の背面には、ジャンパスイッチがあります。ここではマスタ／スレーブの設定ができます。

設定	ジャンパ1 (CABLE SELECT)	ジャンパ2 (SLAVE)	ジャンパ3 (MASTER)
マスタに設定する場合	オープン	オープン	ショート
スレーブに設定する場合	オープン	ショート	オープン

Point

本設定は、お客様の環境によって異なります。同一ケーブル上の他の装置と設定が重複しないように設定してください。同一ケーブル上に他の装置がない場合はマスタに設定します。また、ジャンパ1 (CABLE SELECT) は常にオープンにしてください。

3 取り扱い上の注意

△ 注意

故障などの原因となりますので、以下の点にご注意ください。

- 本製品の分解や、解体はしないでください。
- CD-RおよびCD-RW媒体への書き込み中は、電源を切断しないでください。
- 媒体を挿入するときは、ラベル面を上にして挿入してください。
- 媒体を排出するときは、アクセスしていないことを確認してください。
- 消費電力および環境条件に注意してください。詳細はワークステーション添付のハードウェアガイド等を参照してください。
- 以下の環境／場所でのご使用、保管は避けてください。
 - ・ 極端な低温／高温／多湿環境および温湿度変化の激しい環境
 - ・ 磁気の影響を受けやすい場所
 - ・ 衝撃や振動の加わる場所
 - ・ ゴミや塵埃の多い環境
 - ・ 直射日光のある場所および発熱器具のそば
- 寒い場所から暖かい場所に移動して室温を急激に上げた直後など、結露する可能性がある状態ではお使いにならないでください。結露したままお使いになると、本製品や媒体を損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、しばらく室温で放置してから電源を入れてください。
- ドライブに媒体を入れたままにすると、記録面への埃の付着や傷の原因となります。ワークステーション本体の電源を切断するときは、媒体を取り出してください。
- ご使用にならない場合は、本製品から媒体を取り出してください。また、媒体を入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- トレイを無理に押し込んだり引き出したりしないでください。
- 内部に液体や金属などの異物が入った状態で使用しないでください。
- 本製品前面の汚れは、やわらかい布で乾拭きするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性のものは避けてください。
- ワークステーション本体のカバーが閉じている状態でソフトウェアからの媒体排出は行わないでください。異常音などの故障の原因となります。
- 本製品は定期的なお手入れは必要ありませんが、一ヶ月に一度程度、乾いたやわらかい布などでトレイを軽く拭くことを推奨します。
- 本製品を運搬する場合に備えて、梱包箱は保管してください。
- 媒体を入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- 本製品は、オフィス環境で使用するための電子機器を含むデータ処理装置に関する安全法規に準拠しています。不明な点ございましたら、担当営業員までお申しつけください。

4 媒体の取り扱いについて

△ 注意

データが正しく読めなくなる可能性がありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

- 媒体表面には触れないでください。必ず縁を持つようにしてください。
- ラベル面へのボールペンや鉛筆などによる書き込みはしないでください。また、ラベル等を貼付しないでください。正常に読み込みができなくなる場合があります。
- 傷、歪などによる損傷を避けるため、使用しない場合は専用ケースに保管してください。
- 埃の多い場所、直射日光のあたる場所、および高温多湿の環境は避けて保管してください。
- 媒体の表面に指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合には、乾いたやわらかい布で媒体の内側から外側に向けて拭いてください。ベンジン、シンナーなどはお使いにならないでください。
- 傷んだ媒体を挿入すると、動作ランプが消灯または点滅したままの状態となり、正常に読み込むことができない場合があります。
- 媒体を入れるとき、無理に押し込まないでください。

5 使用できる媒体について

本製品には、下記のCD-R / CD-RWをお使いください。

品名	商品番号	備考
CD-Rディスク CD-R74	0241220	74min, 650MB
CD-RWディスク CD-RW74	0241410	

6 仕様

品名		内蔵CD-R/RW ドライブユニット 基本CD-ROM ドライブ交換機構-CD-R/RW
型名		CLECD32 / CL1CD32
データ	読込	32倍速
転送速度	書込	CD-R : 12倍速, CD-RW : 8倍速
インターフェース		ATAPI (ATA Packet Interface)
バッファ容量		4 MB
環境条件 (動作時)	温度	5~40°C
	湿度	8~80%
外形寸法		146mm (W) × 195mm (D) × 41.5mm (H)
最大消費電力		18W
質量		約1kg

CELSIUSシリーズ
内蔵CD-R/RW ドライブユニット
(CLECD32)

基本CD-ROM ドライブ交換機構-CD-R/RW
(CL1CD32)

取扱説明書

P3FY-1960-01-00

発行日 2001年11月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU[∞]

このマニュアルは再生紙を使用しています。